

計測制御分野で最新のシステムを提供する

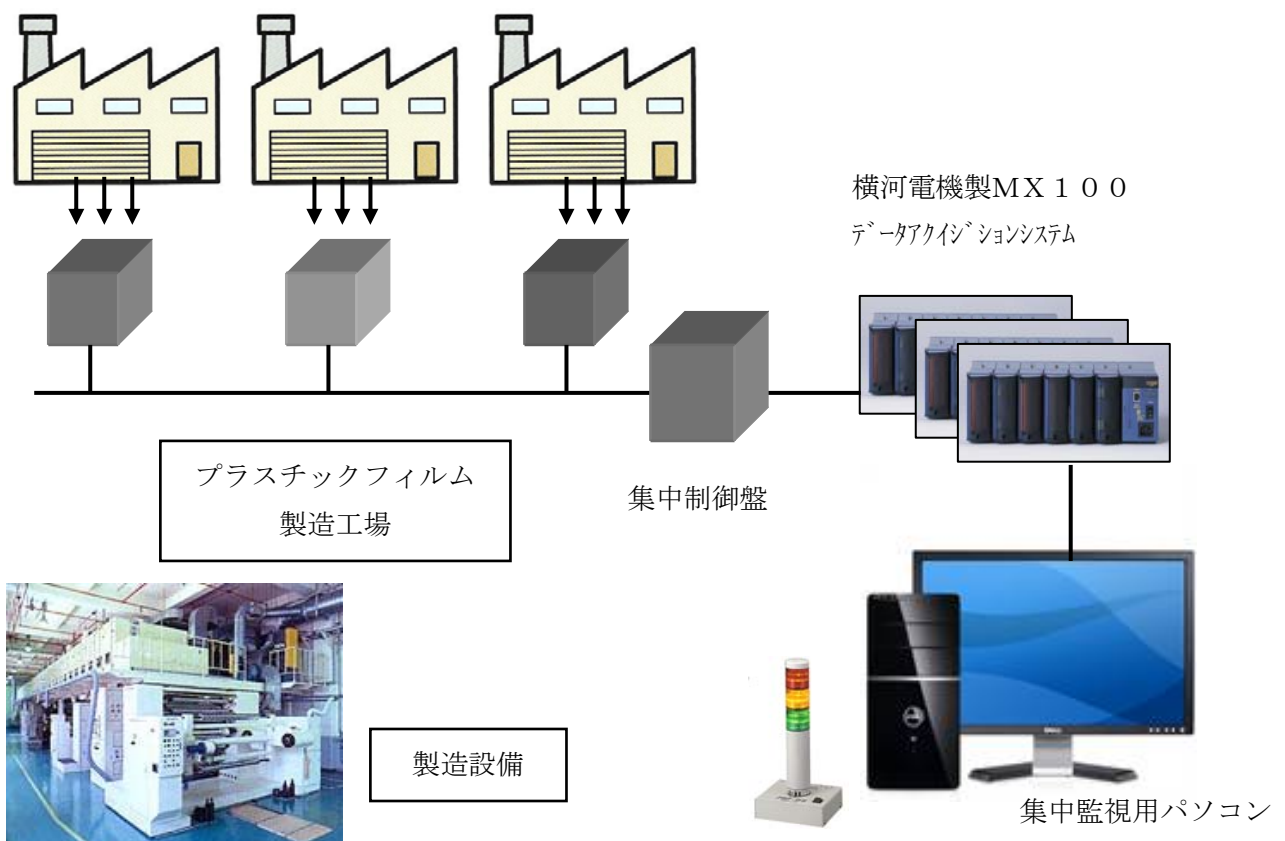
ハビリス納入事例紹介

フィルム製造工場排水監視システム

横河電機株のMX100はイーサネットを経由して1台のパソコンで最大20ユニット、1200チャンネルのデータを収集できるので、多数の製造工程で発生する洗浄水や冷却水等の排水水質の監視などに使用されています。排水の水質基準は、水質汚濁防止法や地域ごとの条例で汚染物質や施設の種類、地域ごとに細かく規定されています。各工場ではこれらの基準により、活性炭処理装置、ダイオキシン除去装置、凝集分離装置などを使用して水質基準の保持に努めています。

「ウェーブリサーチャー」は各処理装置やポンプの稼動状況の監視や、薬剤の投入状況、PH、CODのレベルや調整槽の水位、流量、放流量等のデータを常時計測し、排水水質の監視を行ないます。

(1)システム概要



「システムの概要」

(1)当システムは、プラスチックフィルムの製造工程で発生する洗浄水や冷却水等の水質や排水実績に関するデータの監視を行い、工場外への排水が排出基準に適合した状態で工場の作業が行われているかを監視しています。フィルムの製造工程は原料であるポリマーを溶解成型する工程から始まり、多くの薬品や原水を使用します。そのため、排水の処理には多くの処理槽を使用し、それらの水位を一定に保つためのレベル監視や揚水ポンプ、排水ポンプ等、多くの機器が正常に動作しているかを常時把握する必要があります。これら200点以上のデータを「MX100」からリアルタイムに測定し、工場全体の排水施設の監視を行ないます。

この様に「ウエブリサーチャー」は横河電機㈱製のデータアキュイジション機器と組み合わせて工場内のユーティリティ関連データの監視用として数多く使用されております。

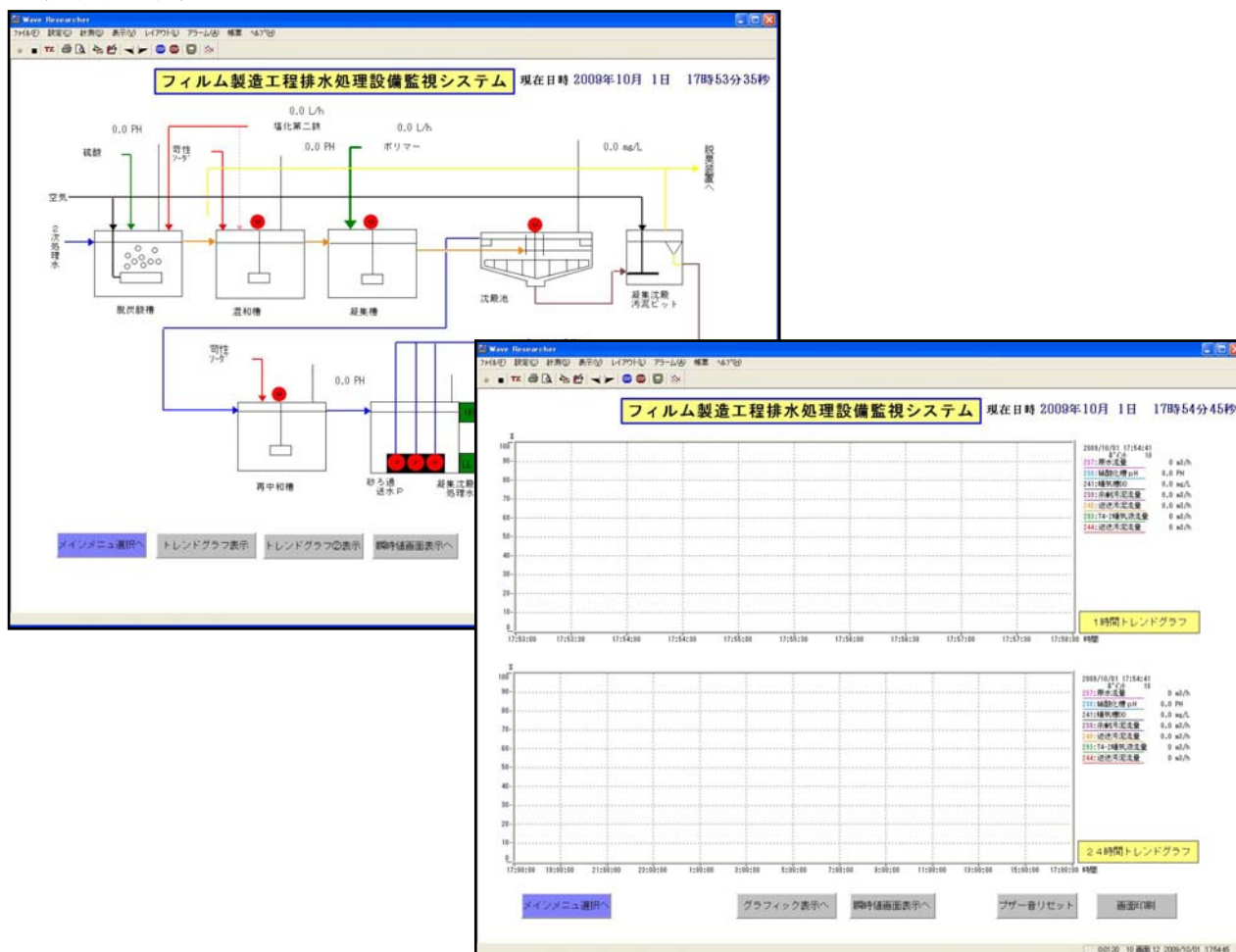
(2)主な処理内容と「ウエブリサーチャー」の改造点について

①警報に関する判定方法、判定基準、アラーム報、日報、月報自動出力機能を追加しました。

リアルタイム画面表示に関しては「ウエブリサーチャー」の基本機能で行いました。

②監視データ例

- ・注入・送液・揚水・排水・循環・移送ポンプ、攪拌機、コンプレッサ、ドライヤー、ファン、フィーダブローワー等の電流
- ・原水、処理水、排水、汚泥等の流量、PH、COD、濁度、電力量、薬剤使用量
(画面表示例)



お問い合わせ先

株式会社ハビリス システム営業部

URL: <http://www.habilis.co.jp>

〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル

Tel : 03-3769-6291 Fax : 03-3769-6285